

# 平成31年度 学校評価実施報告書

幼稚園名（竹田幼稚園）

## 教育目標

未来を心豊かにたくましく生きる子どもの育成

## 年度末の最終評価

自己評価	教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

## 学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価	令和元年9月17日～9月27日	学校運営協議会理事
最終評価		

## （1）幼稚園教育（保育の改善・充実）について

### 具体的な取組

○今年度の研究や特に重視した保育の改善・充実に向けた具体的取組

- ・研究保育・エピソード研修を核とした園内研修の推進
- ・研究主題サブテーマ「言葉による伝え合い」を育む取組の具体的方策
- ・「安心・安定」「自己発揮」「協同性」をキーワードとした保育の推進

○計画的な保育、個への支援の具体的取組

- ・児童の主体的な活動を確保した計画的な環境構成や援助の在り方
- ・行事の見直し、保育と行事との連動
- ・非常勤講師、総合育成支援員、学生ボランティアによる支援

### （取組結果を検証する）各種指標

- ・児童の遊ぶ姿の変容
- ・計画的な保育の週案への明記と振り返り

- ・行事や取組の振り返りによる成果と課題の明確化
- ・「個別の指導計画」の作成による確実な引継、個に応じた保育
- ・アンケート項目「子どもは、夢中になって遊ぶことを通して、主体的に学ぶ力（遊びに向かう力）を身に付けていていること」

## 中間評価

### 各種指標結果

- ・3歳児は幼稚園の生活に徐々に慣れ、安心して自分の好きな遊びを楽しむ姿が見られる。
- ・子ども同士や教師と楽しく遊ぶ子どもの姿が見られる。
- ・行事や取組の振り返りを記録し、次年度への改善に活かすようにしている。
- ・「個別の指導計画」や研修により、子どもの実態を教職員で共有している。
- ・アンケート項目「子どもは、夢中になって遊ぶを通して、主体的に学ぶ力（遊びに向かう力）を身に付けていていること」 あてはまる 84%

自己評価	分析（成果と課題）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1週間の保育を振り返り、次週の週案に活かすようにしている。</li> <li>・行事や取組の実施後に、個別に振り返ることはあるが、職員全体で振り返る時間を持つことがなかなかできていない。</li> </ul>
	分析を踏まえた取組の改善
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究保育やエピソード研修を通して、保育の改善・充実や子ども理解を図る。</li> <li>・行事や取組の実施後に、振り返りの時間の設定し、次への活動に活かす。</li> </ul>
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究保育・エピソード研修を核とした園内研修の推進</li> <li>・行事や取組の振り返りによる成果と課題の明確化</li> <li>・アンケート項目「子どもは、夢中になって遊ぶを通して、主体的に学ぶ力（遊びに向かう力）を身に付けていていること」</li> </ul>
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹田幼稚園の教育活動には、大変満足している。</li> </ul>

## 最終評価

### 中間評価時に設定した各種指標結果

自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

## (2) 幼小連携・接続について

### 具体的な取組

- ・発達や学びの連続性に重点を置き、子どもの主体的な遊びを通して「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を目指し、「学びに向かう力」の育成を意識した保育の推進
- ・保幼小連携の定期的な連絡会、連携した取組の充実
- ・就学前施設と小学校教育との円滑な接続を意識した、子どもの交流や教職員の授業・保育研究や合同研修
- ・接続期カリキュラムの作成・検討

### (取組結果を検証する) 各種指標

- ・公開保育・合同研修の実施
- ・接続期カリキュラムの作成
- ・アンケート項目「園は、小学校への円滑な接続に向けての取組を進めていること」

### 中間評価

#### 各種指標結果

- ・公開保育を実施し、「幼児期までに育ってほしい10の姿」を視点として、小学校・保育所の教員からの感想や評価を得られた。
- ・理解推進事業の幼小連携の協議に、小学校の幼小連携主任が参加した。
- ・アンケート項目「園は、小学校への円滑な接続に向けての取組を進めていること」あてはまる78%

自己評価	<h4>分析 (成果と課題)</h4> <ul style="list-style-type: none"><li>・定期的な保幼小連絡会を実施し、計画的な取組の計画や子どもの情報交換を行うことができた。</li><li>・幼稚園と小学校との人権研修は実施できたが、保育の合同研修は実施できていない。</li><li>・幼小連携をテーマとした合同研修は実施できていない。</li></ul>
	<h4>分析を踏まえた取組の改善</h4> <ul style="list-style-type: none"><li>・昨年度の5歳児の保育計画をもとに、接続期カリキュラムの見直しを作成していく。</li><li>・保育の合同研修を計画・実施していく。</li></ul>
	<h4>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</h4> <ul style="list-style-type: none"><li>・公開保育・研修の実施</li><li>・接続期カリキュラムの作成</li><li>・アンケート項目「園は、小学校への円滑な接続に向けての取組を進めていること」</li></ul>

学校関係者評価	<h4>学校関係者による意見・支援策</h4> <ul style="list-style-type: none"><li>・あいさつは、幼児期から習慣づけることが大事。</li></ul>

### 最終評価

#### 中間評価時に設定した各種指標結果

自己	<h4>分析 (成果と課題)</h4> <p>、重点目標の達成状況、次年度の課題</p>

評価	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

### (3) 預かり保育に関して

具体的な取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育と教育課程内の活動の連動と見直し</li> <li>・預かり保育ならではの特色ある保育の企画・実施</li> <li>・預かり保育の役割や運営についての保護者への発信</li> <li>・預かり保育利用の保護者への見通しと安心・安全な運営</li> <li>・イベントボランティアとしての保護者の参画</li> </ul>
(取組結果を検証する) 各種指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育の参加人数</li> <li>・預かり保育の活動や指導計画の見直し状況</li> <li>・アンケート項目「園は、安心・安全な預かり保育の運営を行っていること」</li> </ul>

### 中間評価

各種指標結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育の参加人数は、4月～6月は昨年より減少しているが、3歳児が参加した7月からはほぼ昨年並みの参加が見られる。</li> <li>・預かり保育研修会に参加し学んだことを参考にして、知育玩具や物品の環境整備や活動の見直しを図っている。</li> <li>・アンケート項目「園は、安心・安全な預かり保育の運営を行っていること」 あてはまる 92%</li> </ul>	
自己評価	<p>分析 (成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育の安全な運営を目指しているが、参加について取り消し・追加が多くなっている。</li> <li>・預かり保育の充実に向けた環境整備を図っている。</li> </ul> <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育の参加状況の確実な把握に向けて、保護者の協力を図る。</li> <li>・10月からの幼児教育無償化に伴い、預かり保育料の確実な把握・徴収を行う。</li> <li>・預かり保育の充実に向けた環境整備・保育の充実を図る。</li> </ul> <p>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育の参加者の確実な把握</li> <li>・預かり保育の適切な運営</li> <li>・アンケート項目「園は、安心・安全な預かり保育の運営を行っていること」</li> </ul>

学校 関 係 者 評 価	学校関係者による意見・支援策
	・特になし

最終評価

自己 評 価	中間評価時に設定した各種指標結果
	分析 (成果と課題), 重点目標の達成状況, 次年度の課題
学校 関 係 者 評 価	分析を踏まえた取組の改善
	学校関係者による意見・支援策

#### (4) 子育ての支援について

具体的な取組	(取組結果を検証する) 各種指標
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めだか・うさぎ組の遊びや取組を通して、子ども同士や親同士の交流を図る</li> <li>・未就園児の保護者の教育相談を推進する</li> <li>・幼稚園説明会において、京都市立幼稚園の教育活動の理解を図り、竹田幼稚園への入園に繋げる</li> <li>・「ぐんぐんひろば」(地域子育て支援ステーション補助対象事業)に参加し、豊かな体験などを通じて、子どもの健全育成や子育て支援を図る</li> </ul>

中間評価

各種指標結果	分析 (成果と課題)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援の取組について、未就園の取組は例年通りの回数や参加人数が得られている。</li> <li>・竹田学区の未就園の親子を対象とした「ぐんぐんひろば」では、約300名の参加が得られた。</li> <li>・幼稚園説明会の参加人数は、昨年より減少している。</li> <li>・未就園児保護者に対して、幼稚園説明会で保護者からの質問を受けて、本園の教育内容を伝えた。</li> <li>・アンケート項目「園は、保護者の子育て支援の充実を図っていること」 あてはまる82%</li> </ul>
自己 評 価	分析を踏まえた取組の改善
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園説明会では、本園の教育内容や活動の理解を図ったが、入園まで結びつくかは未定である。</li> <li>・「ぐんぐんひろば」では、竹田学区の多くの未就園の親子の参加が得られた。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援の取組について、今後も安全な運営を図っていきたい。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月の「ぐんぐんひろば」の企画・運営を図り、幼小連携をアピールしていく。</li> <li>・アンケート項目「園は、保護者の子育て支援の充実を図っていること」</li> </ul> <p>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援の取組の回数や参加人数</li> <li>・アンケート項目「園は、保護者の子育て支援の充実を図っていること」</li> </ul>
学校 関 係 者 評 価	学校関係者による意見・支援策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の子どもが竹田幼稚園にお世話になっていた時、「親子の会話がすくないんではないですか」と、担任の先生から指摘されたことがありました。その時は、ショックでした。その後、ゆっくり話すことや、腰を低くして、目線を合わせて話すように意識したものです。子どもが小さい間は、親も新米です。親御さんが迷いながら、でも、一生懸命子育てされている姿を見ると、頑張れ！！と応援したくなります。</li> </ul>

#### 最終評価

	中間評価時に設定した各種指標結果
自己 評 価	<p>分析 (成果と課題), 重点目標の達成状況, 次年度の課題</p> <p>分析を踏まえた取組の改善</p>
学校 関 係 者 評 価	学校関係者による意見・支援策

#### (5) 地域とのかかわり (社会に開かれた教育課程) について

	具体的な取組
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間行事計画に地域教育を位置づけ、見通しを持った教育を行う</li> <li>・竹田学区団体長会議などで、地域人材の発掘についての情報収集を行う</li> <li>・もちつきやバザーなどのP T A行事に、地域の方々の協力を求める</li> </ul>
	(取組結果を検証する) 各種指標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流についての地域の方々の声</li> <li>・アンケート項目「園は、地域と連携した取組を進めていること」</li> </ul>

#### 中間評価

	各種指標結果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に出ていく活動について、地域の方は好意的に受け止めていただき協力的である。</li> <li>・アンケート項目「園は、地域と連携した取組を進めていること」 あてはまる86%</li> </ul>
自己 評 価	<p>分析 (成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の地域に出ていく教育活動について、計画通り実施することができた。</li> <li>・野菜の栽培について、教員だけでは十分な作業・準備時間が確保できず、地域の協力を得られていない。</li> </ul> <p>分析を踏まえた取組の改善</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜の栽培活動について、保護者や地域の農家について協力を求めていきたい。</li> <li>地域の人材発掘を図る。</li> </ul> <p>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育への地域の方々の協力・支援</li> <li>アンケート項目「園は、地域と連携した取組を進めていること」</li> </ul>
学校 関 係 者 評 価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>P T A からも地域の方々の協力を依頼していく。</li> </ul>

#### 最終評価

	<p>中間評価時に設定した各種指標結果</p>
自己 評 価	<p>分析 (成果と課題), 重点目標の達成状況, 次年度の課題</p> <p>分析を踏まえた取組の改善</p>
学校 関 係 者 評 価	<p>学校関係者による意見・支援策</p>

#### (5) 業務改善・教職員の働き方改革について

<b>重点目標</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>時間の意識、業務の効率化、業務の精選・適正化に向けて、自分に応じた具体的方策を実践する。</li> <li>「働き方改革推進園」として時間外勤務の縮減を図り、子どもと向き合う時間を確保する。</li> </ul>
<b>具体的な取組</b>
<p>○時間を意識した働き方の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会議・研修の開始・終了時刻を提示し、守る</li> <li>毎週水曜日を「ノー残業デー」とし、各教職員の勤務終了時刻に退室するようにする</li> </ul> <p>○業務の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>週案を基に、見通しをもった準備や環境整備を進める</li> <li>職員会の案件や園行事の実施案など、早期に作成・提示するなど、取組の見通しをもつ</li> <li>園行事や保育の準備・後片付けなど、中堅教員が中心となり経験に基づいた短時間で行う作業や、教材研究等のアドバイスを行う</li> </ul> <p>○業務の精選・適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園行事や年間取組を見直し、行事と保育との連動を図る</li> <li>園内研修の精選・簡素化を図る</li> <li>土・日・祝日は電話対応せず、就業日の電話対応について、18時以降は控えていただくように保護者・地域に依頼する</li> </ul>

## ○校務支援員の活用

### (取組結果を検証する) 各種指標

- ・教職員の勤務時間
- ・年休取得率

## 中間評価

### 各種指標結果

- ・教職員の時間外勤務時間は、昨年に比べ減少している。
- ・年休取得率は、昨年に比べて増加している。

自己評価

### 分析 (成果と課題)

- ・会議・研修の時間短縮を図ることができている。
- ・毎週水曜日の「ノー残業デー」は実施できていない。
- ・校務支援員の活用により、教員の業務の軽減化を図ることができている。
- ・行事の前には、業務のために勤務時間が長時間になる。

### 分析を踏まえた取組の改善

- ・毎週水曜日の「ノー残業デー」を意識し、各教職員の勤務終了時刻に退室するようにする。
- ・職員会の案件や園行事の実施案など、早期に作成・提示するなど、取組の見通しをもつ。
- ・行事の実施に向けた見通しを持ち、計画的な準備を行う。
- ・校務支援員を有効活用し、業務の軽減化を図る。

### (最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標

- ・教職員の勤務時間
- ・年休取得率

学校関係者評価

### 学校関係者による意見・支援策

- ・日々教職員の方々を見ていると、とても忙しそうで、なかなか声を掛けづらいと思うことがある。教職員の人数を増やすなど、先生方の負担を少しでも減らすことで、より園と保護者との関係がよくなるのではないかと思う。

## 最終評価

### 中間評価時に設定した各種指標結果

自己評価

### 分析 (成果と課題), 重点目標の達成状況, 次年度の課題

### 分析を踏まえた取組の改善

学校関係者評価

### 学校関係者による意見・支援策